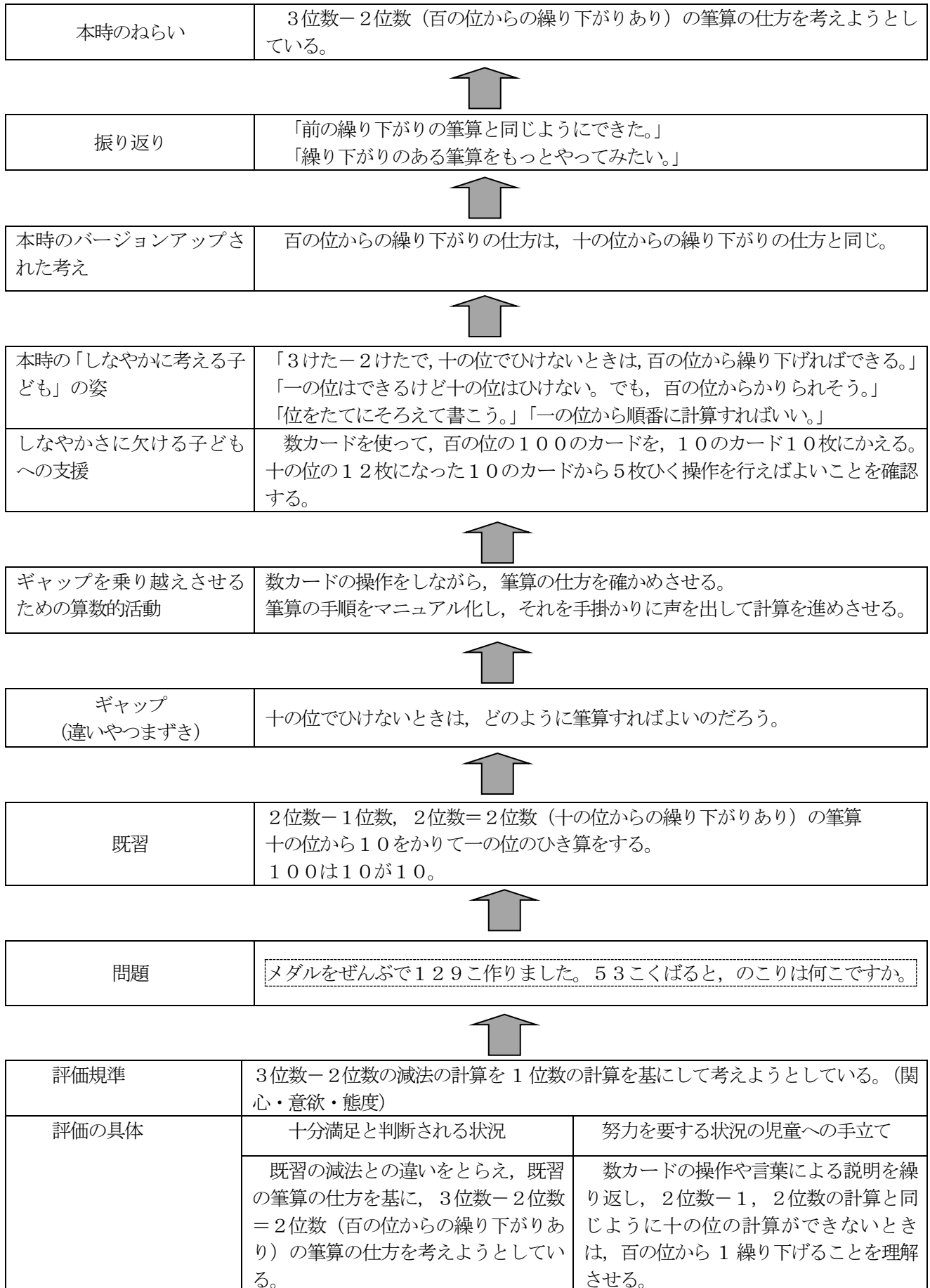


6 本時の目標と展開 (授業① 2年3組)

(1) 本時の授業構想図



(2) 本時の目標

3位数-2位数=2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考えようとしている。


(3) 本時の展開

段階	学習活動と予想される児童の反応	留意点(・)と評価(□) しなやかに考える子どもの姿(※)
つ か む 8 分	<p>1 問題を把握する。 ○今日はメダルを配ります。残りは何個になるかな。 ○テープ図に分かっていることを書いて、式を書こう。 ・(テープ図全体)「129」と書き入れる。 ・(水色のテープ)「53」と書き入れる。 ・$129-53$と立式する。</p> <p>2 課題を把握する。 ○答えはだいたいいくつになるかな。 ・100より小さくなりそう。 ・$120-50$にすると70ぐらい。 ・$130-50$にすると80ぐらい。 ○今までのひき算とどこが違うかな。 ・ひかれる数が100より大きい。 ・十の位のひき算ができない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3けた-2けたで、十の位からひけないときのひき算のしかたを考えよう。</p> </div>	<p>・一の位で繰り上がり、繰り下がりがあることを確認する。</p> <p>・答えを見積もることで、今までの学習との違いをおさえ、課題をとらえさせる。</p> <p>・3位数-2位数の計算は初めてで、百の位から繰り下がりがあることを確認する。</p> <p>・今までの学習との違いをおさえ、課題をとらえさせる。</p>
考 え る 6 分	<p>3 自力解決をする。 ○今までに学習したひき算の筆算の仕方を思い出して、筆算の仕方を考えよう。 (ひっさん) (数カード)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>⑩</p> $\begin{array}{r} 129 \\ - 53 \\ \hline 76 \end{array}$ </div> <div style="text-align: center;"> <p>100 → ⑩⑩⑩ ①①</p> <p> ⑩⑩⑩ ①①</p> <p> ⑩⑩ ①①</p> <p> ⑩⑩ ①①</p> <p> ⑩⑩ ①</p> </div> </div>	<p>□ 既習の減法との違いをとらえ、既習の筆算の仕方</p> <p>基に、3位数-2位数=2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考えようとしている。(観察・ノート)</p> <p>・筆算がうまくいかない時は数カードを用いて考えるよう助言する。</p>
つ く る 12 分	<p>4 学び合う。 ○各自の考えた筆算の仕方を発表しよう。 (数カードを使った説明)</p> <p>①はじめに一の位から計算します。 9-3で6</p> <p>②次に十の位を計算します。2から5はひけないので、百の位にある「100」のカード1枚を「10」のカード10枚に替えます。 12枚になった「10」のカードから5枚ひいて7枚になります。 $12-5=7$</p> <p>③答えは76になります。</p>	<p>※ (仮説2に関わって)</p> <p>これまでの筆算の仕方を活用し「はじめに」「次に」という言葉を使って説明したり、説明を聞いた</p> <p>りして、これまでの筆算と同じように計算できることを確認する。</p> <p>「はじめに一の位を計算します。」 「次に十の位を計算します。」 「100のカード1枚を10のカード10枚にかえます。」</p>

	<p>(筆算を既習の手順で)</p> <p>①はじめに一の位から計算します。9 - 3は6。</p> <p>②次に十の位を計算します。2から5はひけないので百の位から1繰り下げます。12 - 5は7。</p> <p>③答えは76になります。</p> <p>○1繰り下げたのは数カードのどの部分かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100のカード1枚を10のカード10枚にかえたところです。 <p>○ひき算の答えをたし算で確かめよう。</p> $76 + 53 = 129$	<p>「はじめに」「次に」「□から□はひけないので□の位から1繰り下げます。」などの表現を使って説明ができるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで筆算の仕方を説明し合い、習熟を図る。 <p>※(仮説1に関わって)</p> <p>筆算で1繰り下がるのが、数カードの操作のどの場面に当たるか確かめることで、繰り下がりの意味を理解する。</p> <p>「100のカード1枚を10のカード10枚にかえたところです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減法の検算は加法でできることをおさえる。
まとめ	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○他の問題でも確かめよう。</p> $145 - 71$ を計算する。 <ul style="list-style-type: none"> ・百の位から繰り下がりのある筆算の仕方をまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十の位でひけない時は百の位から1繰り下げればよいことを確かめる。 ・数カードの操作と関連させながら筆算の仕方をまとめるようにする。
7分	<p>十の位でひけないときは、百の位から1くり下げて計算する。</p>	
つなげる	<p>6 適用問題を解く。</p> <p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>○振り返りを書きましょう。</p> <p>百の位からの繰り下がりがある筆算の仕方を勉強して分かったことやがんばったことを書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の繰り下がりの筆算と同じようにできた。 ・繰り下がりをもっとある筆算をやってみよう。 	<p>関既習の減法との違いをとらえ、既習の筆算の仕方を</p> <p>基に、3位数 - 2位数 = 2位数(百の位からの繰り下がりあり)の筆算の仕方を考えようとしている。(観察・ノート)</p>
12分	<p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時も繰り下がりのあるひき算の筆算の仕方を考えていくことを知らせる。

(4) 本時の板書

9/26



お楽しみ会で、おきやくさんにメダルをくばっています。

メダルをぜんぶで129こ作りしました。53こくばると、のこりは何こですか。

ぜんぶで()こ
のこり()こ くばった()こ

3けた - 2けたで、十の位からひけないときのひき算のしかたを考えよう。

十の位でひけないときは、百の位から1くり下げて計算する。

(百の位)	(十の位)	(一の位)		△1①
100 →	10 10 10	①①	⑩	⑩
	10 10 10	① 1	12 9	1 45
	10 10	① 1	<u>53</u>	<u>71</u>
	10 10	① 1	76	74
	10 10	①		
	7	6		

2から5はひけないので百の位から1くり下げる。

しき 129 - 53 よそう

129	130 - 50 = 80
<u>53</u>	120 - 50 = 70